

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和05年01月26日

計画の名称	安全・安心な芦屋の公園づくり（防災・安全）												
計画の期間	平成31年度～令和05年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	芦屋市												
計画の目標	芦屋市公園施設長寿命化計画に基づき公園施設の予防保全的な維持管理・改築を行うことで、誰もが安全に安心して利用できる公園づくりを推進する。 また、公園利用者の安全・安心の確保等を目的とし公園のトイレや、出入口と主要な施設を結ぶ園路等のバリアフリー化を進める。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	275	A	275	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初	H33末	H35末
1	平成28年8月に策定した芦屋市公園施設長寿命化計画を、計画策定から5か年が経過するのに合わせて、見直しを実施する。 芦屋市公園施設長寿命化計画に記載されている公園施設の見直し率 長寿命化計画を見直しされた施設を有する都市公園数（箇所） / 長寿命化計画に計上されている都市公園数（箇所）	0%	100%	100%
2	平成35年度までに180基の施設について公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の改築を行い、平成35年度までに改築が必要な公園施設に対する改築された施設数の割合を0%から100%にする。 公園施設長寿命化計画に基づき平成31年度から35年度までの間に改築が必要な公園施設の割合 長寿命化計画に記載されている公園施設で改築された施設数（箇所） / 改築の必要のある施設数（箇所）	0%	47%	100%
3	バリアフリー化が実現する公園トイレ及び園路等の割合の増加 バリアフリー化が実現する公園トイレ及び園路等の割合 バリアフリー化が実現した公園トイレ及び園路等の数（箇所） / バリアフリー化の計画がある公園トイレ及び園路等の数（箇所）	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	-----------------------	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H31	R02	R03	R04	R05				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	芦屋市	直接	芦屋市	-	-	芦屋市公園施設長寿命化計画策定調査(1-A1-1)	公園施設長寿命化計画策定	芦屋市						26		-	
	A12-002	公園	一般	芦屋市	直接	芦屋市	-	-	芦屋市公園施設長寿命化対策支援事業(1-A1-2)	春日公園等14箇所における遊具の改築等	芦屋市						140		策定済	
	A12-003	公園	一般	芦屋市	直接	芦屋市	-	-	公園施設長寿命化対策支援事業(5か年老朽)	健全度C判定かつ耐用年数の9割を超過した公園遊具等の緊急度の高い老朽化した公園施設の改修N=10公園	芦屋市						65		策定済	
	A12-004	公園	一般	芦屋市	直接	芦屋市	-	-	芦屋市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	公園のトイレや園路等のパリアフリー化N=3箇所	芦屋市						44		-	
											小計							275		
											合計							275		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31	R02	R03	R04	
配分額 (a)	7	36	30	0	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	6	0	
交付額 (c=a+b)	7	36	36	0	
前年度からの繰越額 (d)	3	0	13	31	
支払済額 (e)	10	23	18	31	
翌年度繰越額 (f)	0	13	31	0	
うち未契約繰越額(g)	0	13	23	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	36.11	46.93	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		補正予算繰越しのため	補正予算繰越しのため		